

舟山

発行者
幸田町立南部中学校
鈴木 一也
第127号

人と人とのつながりを大切にした南中祭

南中祭

十月一二・一三日の二日間、

南中祭を行いました。今年度も南部中学区の地域のかた、小学生、保護者の皆様など多くのかたがたをお招きし、盛大に開催することができました。限られた準備期間の中、生徒たちの工夫によって、縦割りによる模擬店や有志によるステージ発表、さらには交流会で制作した作品展示などを行うことができました。また、町民会館での合唱コンクールでは素晴らしい歌声を響かせることができました。皆様のご理解とご協力、ありがとうございました。



最後の合唱コンクール

三年 服部 彩葉

三年生にとって最後の合唱コンクールはとても楽しみで、絶対に最優秀賞を取りたい、という思いで練習をしました。その中でさらによくできる点はないかを話し合ったり、他学年と聴き合ったりすることで改善点を見つけました。要点を絞ってたくさん練習し、自信をつけることができました。学級の仲間と意見を出し合いながら進めることができ、最後の合唱コンクールにかけける思いが高まってきました。そのおかげで本番では、落ち着いて臨むことができ、全員の表情が達成感に満ちあふれていました。



自信をもって弾いたピアノ伴奏

合唱コンクールを通して、仲間と同じ思いをもって取り組み続けることが、自信につながるのだと思います。その大切さが実感できた合唱コンクールでした。

初めて出演したステージ発表

二年 早川 景彪

ステージ発表に剣道部で挑戦しました。全員が注目する中、みんなでコントをしました。



やりきったステージ発表

全員が自分の役割を理解し、互いにアドバイスを出し合って練習をして、完成度を高めていきました。

ステージ発表の一組目ということもあり、みんな緊張していました。いざ、自分の番になると「もうやるしかない」という思いで全力でやりました。結果、笑いが起き、味わったことのない体験ができました。

不安もありましたが、みんなで出ることができて、忘れられない思い出になりました。これからは積極性を忘れずに、いろいろなことに挑戦したいです。

学年を超えて

一年 二浦 恵太

今年度から、一〜三年までの異学年が同じグループになっての活動でした。私は、模擬店に向けて、パチンコ台を段ボールで作りました。初めは、先輩との活動に戸惑いましたが、だんだん慣れていき、「ここどうしますか。」など、いつのまにか学年の壁を越えて交流することができ、団結力が強まった気がしました。

そして南中祭当日。私はあまり接客が得意ではありません。お客さんが来るたびに、心臓がバクバクしていました。でもお客さんの楽しそうな笑顔や、先輩の助けを得て、無事に最後までやり抜くことができました。

南中祭を通して、地域の人とかかわりや、達成感を味わうことができました。この経験を生かし、ほかの行事でも開校精神である「やりぬく心」を忘れず、取り組みたいです。



模擬店での様子

校内体育大会

みんなで協力した南翔結戦

一年 牧原 健人

私たち一年生にとって、初めての校内体育大会が終わりまりました。小学校のときにはなかった、学級の仲間で踊る南翔結戦が私はすごく楽しみでした。私は南翔結戦のリーダーに挑戦しました。全体に対して指示を出したり練習の計画を立てたりするのはとても難しいことです。学級を二つにまとめることに、苦勞していた私を優しく助けてくれたのは、仲間でした。「グループをつくって練習やろう」「この振り付けどうする」など、他のリーダーの仲間たちが温かく手を差し伸べてくれました。そんな仲間と一緒に踊ることができた南翔結戦はすごく楽しく、あつという間で、この仲間と最優秀賞が獲れて最高でした。

努力は必ず報われる。私はこの南翔結戦の練習期間を通してそう思えるようになりました。次の合唱コンクールも大好きな仲間と一緒に心に響く合唱をつくっていきます。



楽しんで踊った南翔結戦

交流会

四回の交流会を経て

二年 山本 成敏

交流会茶道では、講師のかたから裏千家の作法について教えていただきました。正座での礼には「真」「行」「草」の三種類があります。腰の曲げ具合や頭の高さの違いで、意味が変わります。他にも、畳に座る位置や歩数お茶のいただき方など、たくさんのお話を教えていただきました。

三・四回目では、南中祭に向けての稽古になり、茶菓子とお茶の出し方や、お点前の仕方を練習しました。お点前では、左右の手足の順番などが決まっています、覚えるのが大変でした。しかし、その動作の根本には、おもてなしの心があります。千利休の頃から、その心は変わっていません。時が変わっても、変わらないおもてなしの心を学べたことはよかったです。



おもてなしの心を学んだ茶道

新人体育大会

新人戦に向けて

二年 永井 快青

私たち野球部は一年生のころから試合に出ているメンバーが多くなります。新チーム最初の大会では、勝てるだろうという気持ちで挑んでしまい、ミスが重なり負けてしまいました。このまま新人戦に臨んだら負けてしまうと思いい、チームで話し合いをしました。今までは、先生にメニューを組んでもらっていたのを自分たちで何が足りないかを考えて組みました。前回のようにな負け方はしないという気持ちで今まで以上に必死でした。

そして、迎えた当日。試合前に最後まで気を抜かず本気でやり切ろうと全員で目標を立てました。一球に集中して、声を出し続けて試合ができました。結果は優勝でした。悔しい負けを経験したからこそ、勝てたのだと思います。この気持ちを忘れずに次の大会でも全員で優勝を取りにいきます。

後期生徒会役員紹介

- | | | |
|-----|----|--------------|
| 会長 | 二年 | 古川 凌愛 |
| 副会長 | 二年 | 山本 晃生 |
| 書記 | 二年 | グンバオウヨ 鈴木 聡介 |
| | 一年 | 山口 凜乃 |

新たな南部中に

二年 古川 凌愛

今年から一〜三年までの異学年が一つの群団となる「群団活動」が始まり、今までは一味違う南部中を目指しています。校内体育大会は、地域や保護者のかたと盛り上がり、一体感あふれる大会になりました。また交流会では、ふだんの生活で体験できないことに地域のかたとかわりながら、多くのことを学ぶことができました。体育館の背面に「あいさつ」「福祉」「歌声」の文字があります。こうした伝統を受け継ぎ、自分たちらしさを出して活動していきたいです。生徒会スローガン「絆紡」には、地域のかたと学校との絆を深めていきたいという想いが込められています。学校行事や日常生活を通して、全校の団結力を深め、学校内だけでなく、ふだん支えてくださる地域のかたがたや家族が笑顔になる瞬間をつくっていききたいです。

幸田町中学校新人体育大会(九月二十八日)

- 団体の部
 - 優勝 野球部
- 個人の部
 - 優勝 渡邊 大己(剣道男子低学年)
 - 山本 智彩(剣道女子高学年)
 - 原田 頼杜(弓道男子)
 - 第二位 岩井 巴那(卓球女子)
 - グンバオウヨ(剣道女子高学年)